

Form 5

平成 23年 5月 25日

サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: (熱田高等学校)大津浩一
2. 参加研究者: Carlos B. Zavalaga
3. 実施日時: 平成 23年 5月 25日 (水) 13:20~ 15:10
4. 参加生徒: 3年生 66人、 1年生 1人、 2年生 1人 (合計 68人)
備考: (例:理数科の生徒)3年生理系の2クラス
5. 講演題目: (英文) Baiologing
(和文) バイオロギング
6. 講演概要:
動物装着型機器(GPS や加速度計、ビデオカメラなど)と衛星を用いた海鳥に関する研究
生徒に GPS を持たせて屋外を歩かせて、その軌跡をグーグルマップに描くというデモや、カツオドリにつけたビデオカメラの映像などを含む。
7. 使用言語: 英語
8. 講演形式:
 - (1) 講演時間 100 分 質疑応答時間 5 分
 - (2) 講演方法 (例:プロジェクター使用による講演、プレ実験など)
プロジェクター使用による講演とビデオ、GPS のデモ
 - (3) 通訳 (例:受入研究者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
受け入れ研究室の博士課程の院生による日本語説明
- 協力者 職・氏名
教諭・宮坂直樹
- (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
キーワード集
9. 支給経費: 交通費 宿泊費 謝金
10. その他特筆すべき事項: 何度もメールで研究者本人と直接やりとりした。